

ることとしている。市としては、イベント等を行う事業主体との調整や協力、受け入れた場合の資金管理や人的体制等、システムづくりの検討が必要となる。国の指針の趣旨を精査し取り組みを検討するとともに、環境基本計画の中での取り組みの検討について盛り込んでいきたい。

(環境政策課)

○その他の質問項目

「公共施設のトイレの改善について」ほか

熊谷運動公園について

問

田島道夫議員

①名称も用途も似かよっている「熊谷スポーツ文化公園」との混同を避けるため、名称変更、愛称設定等ができないか②同公園内の桜の種類と本数は③観光資源としての桜を生かした同公園の整備は、それぞれ伺いたい。

答

①「熊谷運動公園」は、都市公園の施設名称であり、変更を行うことが困難であるため、わかりやすく親しまれる愛称の募集について検討したい。②現在、六百七十七本あり、内訳はソメイヨシノ四百九十七本、熊谷桜七



熊谷運動公園

十八本、八重桜六十五本、しだれ桜十本、河津桜二十六本、大島桜一本となっている。③今後も引き続き、さくらのまち熊谷として、桜堤とともに桜の名所として親しまれるように取り組んでいく。

(熊谷運動公園施設管理事務所)

○その他の質問項目

「児童・生徒の携帯電話のフイルタリングについて」ほか



みんなで止めよう温暖化
チーム・マイナス6%

「チーム・マイナス6%」では、温室効果ガス削減のためのアクションプランを設定しています。

○自動車の使い方で減らそう！
停車中はエンジンオフ。

関係機関に意見書を提出

三月定例会では、次の内容の意見書を議員提出議案として上程し、原案どおり可決しました。なお、可決した意見書は、関係機関に提出されました。

道路特定財源の確保に関する意見書

道路は国民生活や経済・社会活動を支える最も基礎的な社会基盤であり、地域の活性化と安全で安心できるまちづくりの実現には、計画的に整備・維持することが重要であり、その整備に対する住民要望も強い。

本市においても、合併団体という事情により、都市基盤の骨格となり、活力ある地域経済を支える広域連携道路の整備促進及び地域の均衡ある発展と暮らしを支える生活道路の整備等、計画的な道路整備の推進が強く求められている。

こうした中、国では、道路特定財源の使途、暫定税率の存続等が議論され、国民の関心が非常に高くなっている。

原油高騰の折、市民の家計への影響を考慮すれば、安価にガソリン等を購入したいという国民感情は十分に理解できるし、その願いは大きく尊重されるべきものである。

しかしながら、本市では、平成二十年度予算の歳入に道路特定財源からの譲与税及び地方道路整備臨時交付金等が見込まれており、これが廃止・縮小されると、平成十九年度ベースでは、およそ七億三千万円規模の歳入不足となる。その影響は甚大で、本市議会としては到底容認できるものではない。

よって、現行暫定税率の適用期限が二週間後に迫る今、国において次の事項について格段の取組みを要望する。

記

一 当面の間、現行の暫定税率を適用すること。

二 道路特定財源・暫定税率に係る諸問題につき、十分に議論を尽くし、国民的理解を得られる法体系を平成二十年度内を目標として確立すること。

三 法体系整備にあたっては、いかなる場合においても、地方自治体の財源を現行水準で確保すること。